

長野県看護連盟だより

なでしこ

第88号

発行

長野県看護連盟
長野県松本市旭2丁目11-34
責任者／土屋 恭子
発行日 2023年12月18日

長野県看護連盟会員数
4,454人
(2023年11月末現在)



国会見学にて

◎ 今号の主なNews ◎

国会見学報告	P 2
県政等懇談会（要望書提出）	P 3
前期リーダー研修 / 後期リーダー研修	P 4
2023年度看護連盟・看護協会合同会議（関東・甲信越地区）	P 4
看護協会・看護連盟協賛研修	P 5
2023年度関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナー	P 5
施設訪問報告	P 6～7

長野県看護連盟ホームページ
<http://www.kangorenmei-nagano.jp>



届けよう未来への声を！

記録や書類が多すぎる！

自分に合った働き方ができないかな？

看護師の給料ってなぜ上がらない？

ゆとりのある生活をしたい

たまにはロングバカンスがほしい！

自信をもって現場で働きたい！

介護・子育てしながら安心して仕事をしたい

いつになっても働き続けたい！

日本看護連盟

国会見学報告



開催日
2023年9月22日(金)
参加者 44名

新型コロナウイルス感染症により中止していた国会見学を、参加人数の制限と感染対策をしながら4年ぶりに再開しました。

県内からバス2台で移動し、車中では青年部による「国会見学クイズ」で事前知識を深め、国会議事堂内ではテレビ中継でお馴染みの緊張感漂う参議院本会議場等を見学し、議員会館では石田昌宏議員・友納理緒議員の議員室も見学させていただきました。



日本看護連盟会長
高原 静子



高原静子会長には初めて会う参加者も多く、パワフルなお話から元気を頂きました。



参議院議員
友納 理緒



ご多忙中の中、友納理緒議員、長野県選出の5名の国会議員皆様からご挨拶頂きました。また、令和6年度国の予算・施策に対する要望書を看護職代表議員4名と県選出国會議員5名へ提出しました。



衆議院議員・農林水産大臣
宮下 一郎



衆議院議員
後藤 茂之



衆議院議員
務台 俊介



衆議院議員
井出 庸生



衆議院議員
若林 健太

参加者の感想

- ・国会議員の話を直接聞いて、議員の事務室も見学できてよかった。
- ・初めての参加で、気が引き締まる思いであった。連盟の活動がどのように繋がっているのか解った。
- ・青年部のクイズは難しかったが、知らないことも多くあり、勉強になった。
- ・来年は若い人にも参加してもらい、国会議員の活動の場を見てほしい。
- ・スケジュールにゆとりがあり、良かった。



参議院本会議場



石田昌宏議員事務室にて



友納理緒議員事務室にて

県政等懇談会

長野県看護協会と長野県看護連盟は、自民党県議会議員との懇談会において「令和6年度国および県の予算・施策に対する重点要望」に関する要望書を提出し、医療・福祉の現場の現状と課題等について説明しました。

日時 2023年9月13日(水) 13:00～14:00

場所 長野県庁議会棟2階 自民党県議団控室

出席者 自民党県議会議員

西沢正隆議員 宮本衡司議員 共田武史議員

丸茂兵人議員 早川大地議員 向山賢吾議員

長野県看護協会

松本清美(会長) 石井絹子(専務理事)

長野県看護連盟

土屋恭子(会長) 小林厚子(副会長)

何原真弓(副会長) 井上品子(幹事長)



国への要望事項

- 1 働く全ての看護職員の処遇改善の実現
 - 1) 「看護職員処遇評価料」対象医療施設の拡大
 - 2) 看護職の処遇改善実情の評価
- 2 外来における人員配置基準の見直しと強化
- 3 看護要員の適正配置
 - 1) 看護師数の配置基準の見直し
 - 2) 子育て支援制度充実への支援
 - 3) 診療報酬での「看護師夜勤時間72時間以内」を堅持
- 4 看護基礎教育の見直し
 - 1) 看護基礎教育4年の実現
 - 2) 准看護師養成の停止および看護基礎教育の一般化
- 5 新人期にある看護師教育の充実
- 6 特定行為研修修了看護師の診療報酬上の評価

県への要望事項

- 1 保健福祉事務所保健師と市町村保健師の育成支援と連携強化
 - 1) 小規模町村保健師の採用と育成の支援
 - 2) 市町村統括保健師の設置と活用及び地域統括保健師の役割の充実
- 2 大規模災害・感染症蔓延時の体制の構築
 - 1) 大規模災害・感染症蔓延時の派遣体制整備と施設間連携への取組み
 - 2) 医療的ケア児・者の避難体制整備への取組み推進
- 3 訪問看護の提供体制の強化
 - 1) 訪問看護総合支援センターの運営支援
- 4 質の高い看護提供体制の整備
 - 1) 看護の質向上を目的とする小規模施設の看護職への研修の開催と教育環境の整備
 - 2) 専門分野における質の高い看護師の育成の支援

前期リーダー研修



長野県看護連盟前会長
三輪百合子

日時 2023年8月26日(土) 13:00～15:00
テーマ 施設リーダーとしてのリーダーシップとは
講師 長野県看護連盟前会長 三輪百合子
場所 長野県看護協会会館(4階大ホール)
開催方法 ハイブリッド研修
参加者 122名(会場104名・オンライン18名)



長年、長野県看護協会会長と看護連盟会長を歴任した経験を通じて、看護現場の課題解決・看護政策実現等、看護の発展のためには、看護職の職能団体である看護協会と看護連盟がしっかりと連携し、それぞれの役割を果たすことの大切さを講演していただきました。



参加者アンケートより

- ・連盟の歴史を聞き、その必要性を強く感じた。なかなか難しいが連盟のことを伝えていきたい。
- ・三輪さんの話はいつ聞いても胸にずっと入り込みます。パワーを感じた。
- ・連盟活動の様子がよく理解でき、課題を知ることができ、職場での活動の参考にしたい。
- ・「会費は(看護職向上のための)投資」という言葉を他の人へも伝えたい。

後期リーダー研修



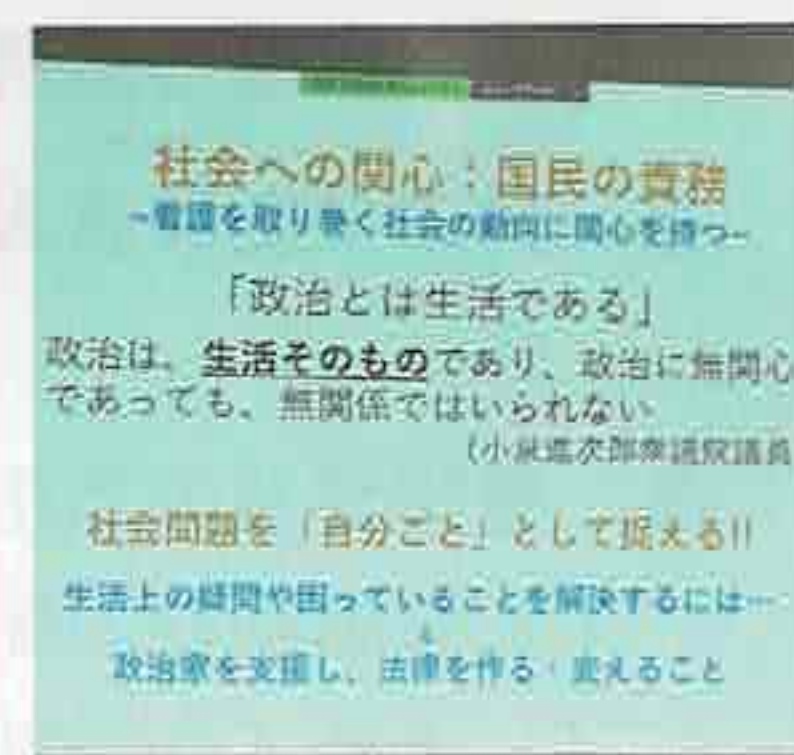
日本看護連盟幹事長
近藤美知子

日時 2023年10月7日(土) 13:00～15:00
テーマ 施設リーダーの役割
講師 日本看護連盟幹事長 近藤美知子
場所 松本市勤労者福祉センター
開催方法 ハイブリッド研修
参加者 112名(会場27名・オンライン85名)



参加者アンケートより

- ・看護連盟の事と政治との関わりが理解できた研修だった。
- ・解りやすい資料と講演内容で、連盟に入会する大切さをスタッフへ伝えられそう。
- ・まずは投票へ行こう！ 政党は意識せず、期日前投票を勧めていこうと思った。
- ・看護連盟の必要性が理解できたが、若い看護師たちに伝えていくのが難しいと感じる。
- ・連盟の活動が看護職にとってどんなメリットとなるのかが、とても分かりやすかった。
- ・政治活動により、今までどのように看護職の労働環境が改善してきたかという歴史が解った。



2023年度 看護連盟・看護協会合同会議 (関東・甲信越地区)

日時 2023年10月26日(木)～27日(金)
場所 チサンホテル宇都宮・ライトキューブ宇都宮
出席者 日本看護連盟役員(3名) 日本看護協会役員(11名)
各都県より看護連盟会長・副会長または幹事長(19名)
看護協会会長・オブザーバー(役員)(20名)



会議では「看護連盟と看護協会との連携を充実させ、組織の強化を図る」を目的に、参加者が6グループに分かれ、各県の活動内容や課題等の情報を共有し、看護職の職能団体として今後の会員確保に向けた具体的な協会と連盟の連携について検討した。その後、看護協会と共に活動できる事業を計画するよう調整を始めた。

看護協会・看護連盟協賛研修



日 時 2023年11月11日(土) 13:00～15:00
 テーマ 新型コロナウイルス感染症対策の経過と今後について
 講 師 松本市保健所所長 塚田昌大
 長野県佐久保健福祉事務所 坂田典子
 場 所 長野県看護協会会館(大ホール)
 開催方法 集合研修 参加者 125名

松本市保健所所長
塚田昌大

佐久保健福祉事務所
坂田典子

塚田先生から、長野県の新型コロナウイルス感染症の第1波～第8波における流行状況について、細かなデータをもとに説明して頂き、松本医療圏における医療体制の構築の経過と今後の課題についても講演して頂きました。

坂田先生から、行政の保健師としての活動状況や新型インフルエンザ等対策特別措置法(特措法)について講演して頂きました。



参加者アンケートより

- ・実際に奮闘された方からの言葉は重かったです。
- ・長く続くコロナ禍。改めて振り返ることが出来た。将来、同じような事態に遭遇した時に、今回の経験を活かさなければならぬ。
- ・松本モデルについての経過や、課題をどう乗り越えたかが大変よくわかった。しかし、感染者の一番近くにいる看護師の代表も、体制構築の話し合いに参加し役割を果たせる存在にならないと感じた。
- ・坂田さんのお話は、法律の解釈のことなど、何気なく理解していたことをきちんと知ることが出来た。
- ・新型コロナウイルス感染症では、どの立場も苦労していたのだと改めて感じた。
- ・とても良かったです！これから私たちは何をしなければいけないのか考えるきっかけになりました。

2023年度 関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナー

日 時 2023年11月17日(金)～18日(土)
 場 所 アピオセレモニー(山梨県)
 担 当 山梨県看護連盟
 参加者 52名(各都県代表5名
 日本看護連盟役員2名)

長野県参加者
 看護協会会長 松本清美
 看護管理者会 佐藤圭子
 看護教育研究会副会長 松澤光恵
 看護連盟会長 土屋恭子
 看護連盟青年部委員長 安彦一也



セミナーに参加して

2年ぶりの集合開催となった政策セミナーは、①看護管理者・看護教育者等として看護を取り巻く環境を共通理解する。②日本看護協会の看護職の処遇改善に向けた取り組みを理解し、施設における処遇改善に向けた働きかけを支援する。③Z世代の政治参加に向けた方策を見出す。を目標に開催された。今回、Z世代に関連するテーマがあり、看護教育者からも前向きな発言が聞かれ、充実したセミナーとなった。

長野県看護協会会長 松本清美

様々な講師からのお話を聞き、連盟、看護管理者、教育現場、青年部、協会とで交流、意見交換する貴重な機会に参加させていただきました。「看護の力」とは、「看護職が社会資源である。看護の現場が明るくなると日本が明るくなる」との講師の言葉が大変印象深く、まずは丁寧に伝えていくことから始めようと思います。

長野県看護管理者会 佐藤圭子

今回初めての参加であり、このような機会を頂いたことに感謝いたします。他県の連盟・協会各理事の皆様をはじめ、看護管理者、学校関係者の方々といった、より広い繋がり実際に触れられたことが、今回の一番大きな学びでした。加えて、貴重な四つの講演を受講したことにより、看護連盟に対しより具体的な活動が理解でき、職場への啓発に繋がられることも成果だと思っています。

長野県看護教育研究会副会長 松澤光恵

諸先生方のお話を伺い、またグループワークを通して、教育者として何をすべきかを考える機会となりました。看護学校在学中から社会の変化や医療の動向、看護師の労働環境や働き方について関心を持ち、行動できる人材育成が必要であると感じました。各関係機関や連盟の青年部のお力などをお借りしながら学習環境を整えていきたいと思っています。



2023年度 施設訪問報告

長野県看護連盟会長 土屋 恭子

連盟会長として新任の挨拶も兼ねて、まずは「現場の声」を直接聴かせていただくため、7月下旬～12月上旬にかけて68施設（医療機関43、訪問看護ステーション1、福祉施設等4、行政機関等4、看護教育機関16）に訪問しました。

私たち看護連盟は「届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ」のスローガンを掲げて、看護協会が目指す政策・提言の実現に向かい、活動しています。時間が許す限り、看護協会の役員とともに施設訪問をさせていただきました。

COVID-19が今年5月から5類相当の感染症に指定されましたが、インフルエンザの流行もともない、現場の混乱と疲弊はあまり変わっていない状況でした。

さて、直接聴かせていただいた「現場の声」です。

開口一番「人材不足・人手不足」「仕事に見合った給与や手当の支給がない」「業務過多、偏り」「若い世代の看護職育成への悩み」等々。看護専門学校では、看護大学の開設が相次ぐ中、入学者の定員割れが続いている。また、近年「採用試験の時期が早まることで、就職先の情報が少ないまま内定が決まる」「看護学生の貧困について、大学も切実な問題と感じている」等々。多くの生の声を聴くことができました。

どの課題も一朝一夕には解決できないものばかりです。若年層の人口減少を考えると課題は益々深刻化していくかもしれません。

しかし、皆さん。私たち看護職には、国政で働く「看護の代表」がいます。コロナ禍において、慰労金支給・診療報酬への「看護職員処遇改善評価料」の新設（年度途中でありえないこと）により、働く看護職全員ではありませんでしたが給与に反映しています。さらに、本年4月から施行された看護職の国家公務員給与表（医療職俸給表三）の改正については全国の看護職の給与表を見直すチャンスを生んでいます。

看護連盟や看護協会は看護職の処遇改善に関して、今年度も国への要望項目として、看護職や県選出の国会議員を通じて、国への働きかけを続けています。

合わせてこの度、「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」（以下、「指針」という）が約30年ぶりに改定されました。指針は、国、地方公共団体、病院等、看護師等、そして国民がそれぞれの立場で取り組むべき方向を示しています。厚労省HPや協会ニュース11月号をご一読いただき、今後の皆さんの活動の参考にしてください。

また、「看護補助者の処遇改善事業」について、令和5年度補正予算案が成立し、看護職の処遇改善にまたとない好機が訪れています。

私たちはこれからも諦めずに声を上げていかななくてはなりません。私たち看護職だけではなく、多くの人々のために「届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ」です。

友納理緒参議院議員 長野県助産施設訪問

周産期の心のケアの実態と課題等について、医療関係者と意見交換を行いました

日時 2023年8月28日(月) 10:00～17:00

視察先 信州大学医学部附属病院（周産期のこころの外来）・はぎもと助産院

同行者 信州大学医学部周産期のこころの医学講座／医師 村上 寛 心理師 榛葉

長野県看護協会長、長野県看護連盟会長・役員、長野県助産師会長



信州大学医学部附属病院にて



はぎもと助産院の皆様と



施設訪問先



町立飯綱病院



轟病院



北信総合病院



長野赤十字病院



清泉女学院大学



県立信州医療センター



市立大町総合病院



北アルプス医療センターあづみ病院



千曲中央病院



竹重病院



県立こども病院



安曇野赤十字病院



丸子中央病院



上山田病院



相澤病院



国保依田窪病院



軽井沢病院



信州木曾看護専門学校



鹿教湯病院



佐久穂町立千曲病院



浅間総合病院



県立木曾病院



岡谷市民病院



富士見高原病院



佐久総合病院



瀬口脳神経外科病院



下伊那厚生病院



諏訪赤十字病院



飯田病院



下伊那赤十字病院



入会案内



看護連盟に入会しましょう

会員の皆様が「看護連盟の力」です！
あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護職代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉の問題解決を推進しています。

会費	日本看護連盟会費	5,000円
	長野県看護連盟会費	3,000円
	計	8,000円

*賛助会員・学生会員募集中

当連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、一般市民の方、介護職の方など、どなたでも入会できます。

賛助会員	会費	年額1口1,000円
学生会員	会費	無料

入会のお申し込みお問い合わせは
長野県看護連盟まで

〒390-0802 松本市旭2-11-34
Tel 0263-35-3556 Fax 0263-35-5364

今後の予定
令和6年1月13日(土) 会員研修
参議院議員 石井昌宏 国政報告

お詫びと訂正

なでしこ第87号3ページにおいて支部役員のお名前に誤りがありました。
誤) 安曇野赤十字病院 幹事長 加藤阿紀子
正) 安曇野赤十字病院 幹事長 加集阿紀子
関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

丸大食品

心に残る贈り物

丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。
お中元・お歳暮の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝・御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用になれます。

丸大食品株式会社 長岡営業所

〒940-1104
新潟県長岡市摂田屋町2604

TEL:0258(22)3372 FAX:0258(22)3385



サステカ通信工業株式会社

- ・電話設備/ネットワークシステム/ナースコールシステム
- ・放送・音響システム/監視カメラシステム/各種無線システム



住所: 〒399-0033 松本市大字笹賀7600-6
電話: 0263-86-1520 FAX: 0263-86-1456



水と、
空気と、
睡眠と。

TUK 東洋羽毛

*** 美しさへのお手伝い ***



Boutique HAYAMA

松本市中町ハヤマビル1F
☎(0263) 32-3100

trois HAYAMA

松本市深志2-1-17 ビレネビル1F
☎(0263) 33-8668

ADVANCE HAYAMA

東筑摩郡山形村7977アイシティー21 2F
☎(0263) 98-6519



ハヤマグループ 松本市中央3-11-21

おすすめの 新サービス

キクミミ

患者さまや、ご家族さまのお悩みに
コーディネーターが無料でご助言

※ご相談内容によっては、弊社が提携する
専門家の方へのご紹介も可能です (有料)

CSセットご利用の方は、土業へのご相談が60分無料

患者サービス
向上

ケースワーカーの
業務負担も
軽減



エランキクミミ 検索

株式会社 エラン 本社: 長野県松本市出川町 15-12

☎ 0263-29-2688 (平日 9:00 ~ 17:00)

エランの「CSセット」は全国1860以上の施設でご導入いただいております



あらゆる印刷に.....

双葉印刷

松本市城東2-2-6 Tel (0263) 32-2263

〒390-0807 Fax (0263) 36-7128

E-mail futaba-p@theia.ocn.ne.jp